芝浦工業大學
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Press Release

報道関係 各位

2025 年 8 月 1 日
芝浦工業大学

AI・量子共通基盤の研究開発を開始

～大学や研究所など国内 10 機関で連携し、量子コンピューターの活用加速を目指す～

＊　　＊　　＊

芝浦工業大学（東京都江東区／学長 山田 純）工学部・渡部昌平准教授（量子情報工学研究室)は、量子コンピューターの産業利用加速に向けた「AI・量子共通基盤の研究開発」を国内 10 機関と連携し開始します。

量子技術を巡る国際競争が激しさを増すなか、内閣府が掲げる「量子未来社会ビジョン」（注 1）においても、量子技術の社会実装や産業化の強化が重要方針として示されています。

本取り組みを通じて 2027 年度末までに、量子コンピューター利用の敷居を下げ、さまざまな産業分野で量子技術を手軽に活用できる技術の確立を目指します。これにより、量子技術に関する専門的な知識がなくても利用できる「AI・量子共通基盤」の構築を目指します。

なお、本取り組みは国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下 NEDO）による「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業（g5-3）量子コンピューターの産業化のためのミドルウェア開発」（注 2）に提案を行い、2025 年 7 月 31 日の採択を受けて実施するものです。KDDI 株式会社をはじめ、株式会社セック、株式会社 KDDI 総合研究所、株式会社 Jij、株式会社 QunaSys、国立研究開発法人産業技術総合研究所、学校法人早稲田大学、学校法人慶應義塾、国立大学法人大阪大学と連携するプロジェクトです。

ポイント

- 量子技術の産業応用に向けた基盤構築への参画
- 国内 10 機関による産学連携プロジェクト
- 量子と AI の融合により利便性の高い環境の実現を目指す

（注１）出典：2022 年 4 月 22 日「量子未来社会ビジョン ～量子技術により目指すべき未来社会ビジョンとその実現に向けた戦略～」（内閣府 統合イノベーション戦略推進会議）
https://www8.cao.go.jp/cstp/ryoshigijutsu/ryoshi_gaiyo_print.pdf
（注２）2025 年 3 月 26 日「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業」に係る公募について
https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100396.html

取り組みの詳細はこちらからご確認ください。
https://newsroom.kddi.com/news/detail/kddi_nr-680_4047.html

芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科
https://www.shibaura-it.ac.jp/

理工系大学として日本屈指の学生海外派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の大学です。東京都（豊洲）と埼玉県（大宮）に 2 つのキャンパス、4 学部 1 研究科を有し、約 10,000 人の学生と約 300 人の専任教員が所属。2024 年には工学部が学科制から課程制に移行。2025 年にデザイン工学部、2026 年にはシステム理工学部で教育体制を再編し、新しい理工学教育のあり方を追求していきます。創立 100 周年を迎える 2027 年にはアジア工科系大学トップ 10 を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

取材に関する問い合わせ先
学校法人 芝浦工業大学　入試・広報部企画広報課　横溝
TEL 03-5859-7070　FAX 03-5859-7071　E-mail **koho@ow.shibaura-it.ac.jp**

以上